

平成 30 年 11 月 9 日

各 位

会 社 名 ムトー精工 株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 田 中 肇
 コード番号 7 9 2 7
 問合せ先責任者 取締役
 管理本部担当 金 子 貞 夫
 電 話 0 5 8 - 3 7 1 - 1 1 0 0

平成 31 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

平成 30 年 5 月 11 日に公表いたしました平成 31 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想値と、本日公表の当該期間における実績値において、下記の通り差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 31 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想値と実績値の差異(平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)
 (単位: 百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	13,000	450	430	300	41 円 74 銭
実 績 値 (B)	12,206	544	790	479	66 円 72 銭
増 減 額 (B-A)	△793	94	360	179	—
増 減 率 (%)	△6.1	21.0	83.8	59.8	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 30 年 3 月期第 2 四半期)	13,123	951	942	787	109 円 55 銭

2. 差異の理由

当第 2 四半期連結累計期間につきましては、自動車関連部品や電子ペン部品の出荷の伸び悩みに伴い、売上高は予想を下回りましたが、品質の向上による原価低減や固定費の削減等により、各製造拠点の業績が好調に推移したことや、為替差益の影響もあり、利益は増加いたしました。

以上により、連結売上高は、13,000 百万円から 12,206 百万円と 793 百万円(6.1%)の減収となりました。また、営業利益は 450 百万円から 544 百万円(21.0%増)に、経常利益は 430 百万円から 790 百万円(83.8%増)と当初予想より増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、経常利益の増額等により 300 百万円から 479 百万円(59.8%増)となりました。

なお、平成 31 年 3 月期通期の連結業績予想は、現時点において、最近の国内外の経済状況の変動を鑑み、平成 30 年 5 月 11 日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

当連結累計期間につきましては、第 2 四半期に引き続き、安定した受注の確保、新規取引先の拡大を進めていくとともに、各拠点の固定費の抑制、品質の向上による不良の削減など、低コスト体制を構築してまいります。

(注) 通期連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上